

住民主体のまちづくり

No.8 2014. 7

編集発行：車尾地域づくりモデル検討会

■第2回「防災」をテーマの懇談

検討委員の趣旨説明の後、自治会長2名、消防団3名、民生委員3名、住民2名、検討委員3名で自由討議を行いました。主な意見は、・4月7日の朝、車尾5区で発生した火災は、いろいろ教訓がある。・防災について、基礎知識をしっかり身に付ける必要がある。(研修会や講習会)・研修会や講習会に参加して、簡易担架を造って人を運ぶ体験は、有意義である。・いろいろな災害があるので、それぞれの対応が知りたい。・比較的災害が少ないので、車尾の住民は災害に対して意識が低いのでは。・まず、自分の命は自分で守る。・風評には、惑わされないようにする。・自治会ごとの自主防災組織率が低い。・避難場所のトイレがない。・自治会に未加入世帯をどう避難させるか。・訓練の継続が、必要である。・災害発生の時間帯により、避難の対応が違う。・・・などです。

■第1回「河川美化」をテーマの懇談

検討委員4名と車尾地区河川責任者協議会長とで話し合いました。主な意見は、

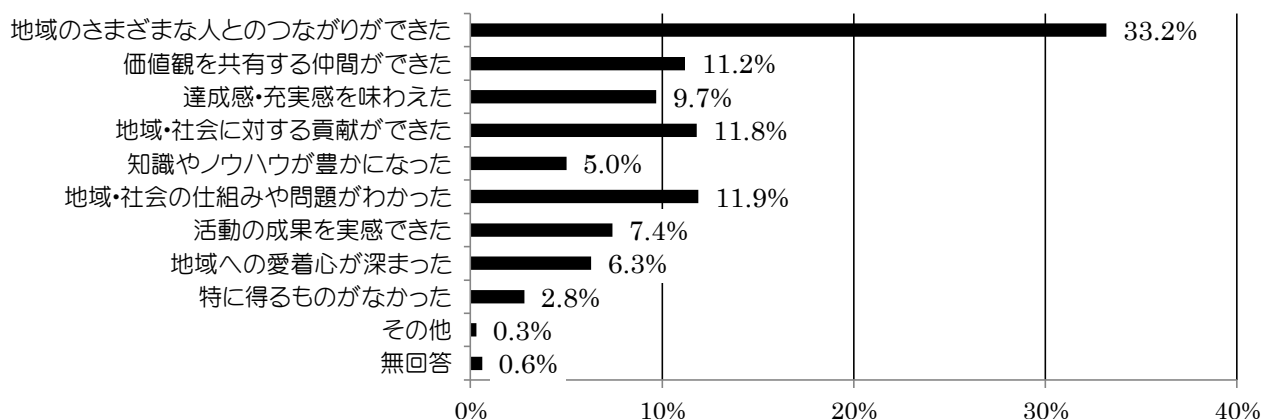
- ・農業関係者でやっている。経費が出ている。
- ・河川の規模や用途で、管轄が異なる。(国、県、市、土地改良区、農家)
- ・全住民からのボランティアでは、難しい。

・・・などで、取り組みは難しいです。

■住民アンケートの集計より

869世帯から回答をいただき、回答率は36.2パーセントでした。引き続き結果を載せていますので、参考にしてください。

あなたは、PTAや子ども会、老人クラブなどの役員を担ってみて、どんなことを得ましたか。(3つまで)



自分たちのまちは 自分たちの力で